

第二次新潟市立図書館ビジョン 令和3年度実績 評価シート(南区)

図書館の基礎的数値	南区図書館の実績			
	指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1 資料購入費	決算額	7,470	6,936	6,939
2 蔵書冊数(単位:冊)	図書のみ	169,832	163,526	162,338
3 個人貸出人数(単位:人)	図書、雑誌、AV	50,132	39,825	42,671
4 個人貸出点数(単位:点)	図書、雑誌、AV	173,181	143,160	148,452
5 個人登録者数(単位:人)	有効期間は4年	6,251	5,856	5,590
6 (うち新規登録者数)(単位:人)	上記の内数	661	484	538
7 団体の貸出冊数(単位:冊)	図書、雑誌	11,394	7,594	7,644
8 入館者数(単位:人)	図書館のみ	140,519	106,492	106,214

ア 市民の生涯学習や課題解決を支援します。	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和3年度南区の取組結果	令和3年度外部評価欄	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度		段階評価	自由記述
<p>施策① 多様な利用に応じた図書館サービスの提供</p> <p>施策② 課題解決のためのレファレンスサービスの充実</p>	<p>予約件数</p> <p>レファレンス受付件数</p>	<p>25,456件</p> <p>4,471件</p>	<p>25,090件</p> <p>2,389件</p>	<p>25,500件</p> <p>2,400件</p>	<p>26,295件</p> <p>3,001件</p>	<p>26,500件</p> <p>3,500件</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で利用が低迷した令和2年度に比較すると、令和3年度は回復傾向になりました。公共施設が臨時休館となる中、図書館は予約資料のみ貸出を実施したため、予約件数は目標を達成することができました。レファレンス受付件数も丁寧な対応を心がけ、対応件数の取りこぼしがないように職員間で周知徹底しました。</p>	<p>3 大変評価できる 85.7%</p> <p>2 ある程度評価する 14.3%</p> <p>1 評価できない 0%</p>	<p>・各年代ごとにきめ細かいアプローチをお願いしたい。 ・予約件数が持ち直したことは評価できるが、裏を返せば直接の来館が難しいがゆえに、予約での書籍借受け需要が増大したと解釈することもできる。感染状況は悪化傾向であるので、令和4年度の目標はもっと高くてもよいのではないかと。レファレンス件数が目標を超えて3,000件に達したのは素晴らしい。 ・予約、レファレンス受付のどちらも件数が伸びているのは、南区図書館への信頼度が高いと思う。人口が少ない同区で市民にとって重要な施設のひとつで、サービスの維持に努めてほしい。 ・臨時休館中も予約資料の貸出しを実施したことは大変良かった。予約の利便性がこれまで以上に浸透し、予約利用者数の底上げになったと考えられる。単年度の実績に止まらず、次年度以降にも貢献する取り組みとなったのではないかと。 ・コロナ禍でこの件数が出せたのは職員の方々の努力の成果だと思う。目標達成も大切であるが、丁寧な対応を常に心がけることが大事なことだと思う。</p>
イ 特色ある地域づくりに寄与します。	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和3年度南区の取組結果	令和3年度外部評価欄	
<p>施策① 地域資料(郷土資料・行政資料)の体系的な収集</p> <p>施策② 地域の課題解決に役立つ資料の活用</p>	<p>郷土・行政資料の蔵書冊数</p> <p>資料のテーマ展示回数</p>	<p>8,307冊</p> <p>85回</p>	<p>8,564冊</p> <p>86回</p>	<p>8,700冊</p> <p>90回</p>	<p>8,794冊</p> <p>110回</p>	<p>9,000冊</p> <p>100回</p>	<p>郷土資料は区役所等、関係機関の協力も得ながら収集に努めました。展示については郷土の装丁家の資料を新たに常設とし、展示替えを行うことにより、目標数値を上回ることができました。</p>	<p>3 大変評価できる 71.4%</p> <p>2 ある程度評価する 28.6%</p> <p>1 評価できない 0%</p>	<p>・地域ごとの図書館の個性をどう作っていくのか。地域の利用者の興味とニーズを掘り起こしてほしい。 ・図書館事業全体の予算削減が続く中、着実に地域資料が増えていることは評価できる。資料展示回数について、展示替えを行ったことが要因だったとはいえ、目標を20回も超えることができ、こちらも評価できる。今後も、大人はもちろん、子どもも地域に愛着をもってもらいたい。地域資料の充実は不可欠の条件だと考える。 ・郷土資料等を収集保管することは、同図書館の大きな役割の一つである。業務多忙の中、目標を上回る実績は頭が下がる。また、資料活用についても今以上に伸ばしてほしい。 ・地域の歴史を学ぶ上で大切となる資料である。どんなものでも必ず役に立つはず。これからも収集に努めてほしい。いつも工夫された展示がされていて感心する。これからも楽しみにしたい。</p>
ウ 子どもの読書活動を推進します。	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和3年度南区の取組結果	令和2年度外部評価欄	
<p>施策① 子どもの読書環境の整備</p> <p>施策② 学校、保育園・幼稚園・こども園、公民館などとの連携と支援</p>	<p>児童書の貸出冊数(個人・団体)</p> <p>子どもの読書推進に関わる職員派遣</p>	<p>52,001冊</p> <p>51人</p>	<p>40,137冊</p> <p>7人</p>	<p>40,200冊</p> <p>7人</p>	<p>42,404冊</p> <p>8人</p>	<p>42,500冊</p> <p>8人</p>	<p>児童書の貸出しは年々減少傾向にありますが、令和3年度は前年度から微増となりました。今後も学校、保育園などへの団体貸出しを広報し、子どもの読書環境の整備に努めます。また感染症対策で開催、実施が中止にならない限りは、子育てサロンへの講師派遣や職場体験の受け入れなど、積極的に協力していきます。</p>	<p>3 大変評価できる 42.8%</p> <p>2 ある程度評価する 57.2%</p> <p>1 評価できない 0%</p>	<p>・児童書の貸出冊数が目標を約2,000冊超えたのは評価できる。しかし来館が難しいからこそ、逆に学校での調べ学習等のために書籍の貸出しは増えるのではないだろうか。令和4年度の目標数値はもっと高くしてよいはずである。職員派遣については、令和3年度は目標よりも微増となった。感染状況の推移が不明である以上、やむを得ない。 ・放課後児童クラブを利用する児童も、本離れが進んでいるが、子どもたちは大人からお話を聞くことは心地良いと感じている。ブックスタート以後の両親、祖父母や周囲の大人の読み聞かせ体験の支援が広がることを願う。 ・子どもの数自体が減少し、コロナ禍で子どもたちの活動も制約されがちなか中で児童書の貸出し数の増加が見られたのは良かった。現今の状況を考えて子どもの読書環境の維持と整備には特に力を尽くしていただきたい。 ・白根図書館の絵本の配置をジャンル別にするなどもっと探しやすくしてほしい。 ・小さい頃から図書館が好きになるような活動をこれからも推進してほしい。</p>
エ 市民参画と協働を推進します。	指標	実績	実績	目標	実績	目標	令和3年度南区の取組結果	令和3年度外部評価欄	
<p>施策① 利用者・市民による図書館運営への参画</p> <p>施策② ボランティアや教育機関・民間団体との連携協力</p>	<p>図書館協議会や利用者懇談会の開催</p> <p>ボランティア参加のべ人数</p>	<p>図書館協議会を2回開催</p> <p>220人</p>	<p>図書館協議会を2回開催</p> <p>166人</p>	<p>図書館協議会を2回開催</p> <p>170人</p>	<p>図書館協議会を2回開催</p> <p>154人</p>	<p>図書館協議会を2回開催</p> <p>170人</p>	<p>白根図書館協議会は対面での会議を1回開催したが、新型コロナウイルス感染症まん延等防止措置の影響もあり、2回目は書面での報告のみとなりました。完全休館こそしませんでした。予約資料受取のみの開館など、ボランティアが館内で活動することができない期間があり、目標値には届きませんでした。</p>	<p>3 大変評価できる 28.6%</p> <p>2 ある程度評価する 71.4%</p> <p>1 評価できない 0%</p>	<p>・イベントの開催は感染状況などに左右されてしまうが、開館していれば平時でもボランティアが参加できる仕組みがあったら良い。 ・令和3年度の2回目協議会が書面報告となったのは、年明けのオミクロン株の流行を鑑みれば、やむを得ない。ボランティア参加の延べ人数は、活動機会そのものが中止されたり、縮減されたりする中、こちらもやむを得ないと考える。 ・協議会の参加者だけでなく、図書館ホームページ、ラインやTwitter等のSNS活用で図書館ファン以外の市民参加の工夫をお願いしたい。 ・コロナウイルス感染防止の対応により活動が制約されたことを考えると、目標値に届かないのは当然の結果かと思う。このような場合、目標値に達したかどうかという評価は、なじまない。むしろ、この状況でボランティア参加の延べ人数が目標値の90%以上に達したことが評価されるべきである。 ・できる時にできる事をするのが大切。目標達成できなくても何らかの努力をしているはず。これからもいつどうなるのかわからない日々を、良い方法を考えながら進めていけば、素晴らしい活動ができると思う。</p>